

サンプル版

これは完成版ではありません。
お試し用にのみお使いください。



成功 (救い)

イツツ・マイ・チョイス

1



バプテスマガイド 概要 1

成功（救い）

導入：今、まさに起きている戦争があります！

- I. 聖書の初めの言葉が、それについて語っています（創世記 3 章 15 節）。
 - A. 遊び：紙ボール戦争
 - B. 「敵意」という言葉の言い換え
 - C. 創世記 3 章 15 節の言い換え
 - D. 「敵意」は神様とサタン、二つのグループの間の憎しみのこと
 - E. エデンの園で犯した罪は、今の私たちにも影響を与えています。

- II. 私たちはみな、サタンの側にいました（ローマの信徒への手紙 3 章 23 節）
 - A. ローマの信徒への手紙 3 章 23 節：「すべて」
 - B. ローマの信徒への手紙 3 章 23 節を言い換える

- III. 私たちは死ぬ運命にあり、神様は命を与えることができます。
（ローマの信徒への手紙 6 章 23 節）
 - A. ローマの信徒への手紙 6 章 23 節：私たちが得る報酬とは？
 - B. ローマの信徒への手紙 6 章 23 節：賜物とは、誰かがあなたに与えるものです
 - C. ローマの信徒への手紙 6 章 23 節を言い換える
 - D. 遊び：綱引き

- IV. 私たちは今、イエス様のおかげで、戦いのどちらの側に立つかを選ぶことができます。
（ヨシュア記 24 章 15 節）
 - A. 遊び：どっちがいい？ ゲーム
 - B. ヨシュア記 24 章 15 節（または列王記上 18 章 21、39 節、エフェソの信徒への手紙 6 章 10～12 節）
 - C. 赤ちゃんのときには、選ぶことができませんでした、今では選べます。
 - D. ヨシュア記 24 章 15 節を言い換える。

- V. どちらの側を選ぶか？（ヨハネの手紙 1・5 章 11～13 節）。
 - A. ヨハネの手紙 1・5 章 11～13 節： 算数の問題（あなた + イエス様 = 命）
 - B. 遊び： 良いこと／報酬に対する賜物（たまもの）。
 - C. ヨハネの手紙 1・5 章 11～13 節を言い換える。

結論：あなたは、どちらの側を選びますか？

- A. ワークシート 1 に記入します
- B. お祈りをして終わります

バプテスマガイド 要点1

成功（救い）



聖句

1. 創世記 3 章 15 節： 私たちは戦争に参加しています。
2. ローマの信徒への手紙 3 章 23 節： 私たちはみな、サタンの側にいました。
3. ローマの信徒への手紙 6 章 23 節： 私たちは死ぬ運命です。神様は命を与えます。
4. ヨシュア記 24 章 15 節： 私たちは、自分がどちらの側に立つかを選ぶことができます。
5. ヨハネの手紙 1・5 章 11-13 節： あなたは、永遠の命の確信を持つことができます。

決心の時間

戦いの中で、あなたはどちらの側に立つことを選びますか？ 生徒ワークブックの最後の欄で、「イエスの側」を選ぶことで、決心を確認します。

具体的に（ステージ 3 の子どもに適切に）

「紙ボール戦争」 *紙ボールとは新聞紙を半分に切ったものを丸めてボールにしたもの

紙ボールを相手チームの陣地に投げます。

どちらのチームがより多くの紙ボールを相手の陣地に入れるかを競います。

「綱引き」

いろいろな種類の綱引きゲーム

どっちがいい？」ゲーム

2つのものの中からすばやく選択して移動します。

必要な道具

- ・ 聖書、生徒ワークブック、ボールペンまたは鉛筆。
- ・ 紙ボールを入れる、二つのかご（一人、5～10 個の紙屑）
- ・ 綱引きのための長いロープ
- ・ プレゼントする贈り物。教師はあらかじめ [ギフトカード（図書券など）、すてきな付箋やノート、み言葉しおり] などを用意しておきます。



バプテスマガイド 内容1

成功（救い）

導入

今日は、みなさん一人ひとりにプレゼントを用意しています。でも渡す前に、一つのお話を聞いてほしいと思います。それは、今、まさに戦争が起きている、ということです。これは、スポーツの試合のことではありません。テストの点数を競うことよりずっと激しい戦いです。この戦いは、人類歴史上で最も大きかった戦争よりも大きな戦いなのです。

1. 創世記3章15節：今、まさに戦争が起きている！

遊び：紙ボール戦争

2つのグループを作り、それぞれのチームに、紙ボールの入ったかごを用意します。ロープを地面に置いて、それぞれのチームが自分の陣地に集まるようにします。目標は、すべての紙ボールを敵の陣地に投げ入れることです。あなたが「始め」と言ったら、両チームは相手チームの陣地に紙ボールを投げ入れます。紙ボールが相手に当たったりしてもかまいません。子どもたちは、紙ボールを拾い、相手の陣地に投げ入れます。しばらくしたら（最長で1分間）、「ストップ！」と言ってゲームを終えます。それぞれのチームが、自分の陣地にある紙ボールを数え、陣地に紙ボールの少ないチームが勝ちとなります。

途中で説明しよう：戦いはずっと続きます。ある時には、片方が勝っているように見えても、他の場合には別のチームが勝っているように見えることもあります。でも戦いは、誰かが「ストップ！」と言うまで続くのです。

聖書の最初の言葉の中に、戦いについて書いてあります。（創世記3章15節を開き、一人の生徒に読んでもらいます。）

ありがとう！ この聖句は、短い言葉の中にたくさんのことが含まれているのでとっても複雑です。一緒に少しずつ考えてみましょう。（言い換えをすぐに生徒に求めても結構です。でも、ほとんどの生徒（具体的思考者[ステージ3]）には、自分の言葉で言い換える前には説明が必要です。）

「敵意」という言葉に気が付きましたか？ 聖書の中では、二人の人の関係を表すために、この言葉を使っています。一人目の「蛇」は、サタンのように行動します。もう一人の女性は、「エバ」です。地球の最初のお母さんで、エデンの園でサタンに騙されてしまった人です。

「敵意」は、よく聞く言葉ですが、どんな意味があるのか分らないかもしれません。誰か意味の分かる人はいますか？（何人かいれば、当てます）他の言葉で言い換えれば「敵意」とは、「お互い憎しみ合う」ことです。二人の人が長い間お互いのことを嫌っていたとしましょう。このような強い感情は、何年も、時には一つの世代から次の世代にも続くこともあります。

生徒ワークブックのワークシートを見てみましょう。ここに、創世記3章15節の、「敵意」という言葉の別の言い換えの例があります。翻訳は、学者のグループが、ヘブル語かギリシャ語で古い巻物に書かれたものを理解して訳した結果で、それを今日の言葉で書いたものです。言い換えは、聖書が言っていることを個人が説明することです。言い換えがとても得意な人たちもいます。この聖書研究シリーズで私たちも言い換えに取り組んでみましょう。

ワークシートの最初の部分を見てみましょう。読んだ後で、あなたにとって、創世記3章15節を一番よく表しているものを選んでみましょう。（ここに書かれていることがらを声に出して読み、生徒たちに少し時間を与えて、創世記3章15節を一番よく表しているものを自分で選ばせます。生徒たちの質問に答える準備をしておきましょう。）

創世記3章は、サタンがエデンの園でエバを騙したあと、神様がサタンとエバの間に憎しみを置かれた、と教えているのです。でもそれだけではありません。その憎しみは今も続いているのです。事実、私たちの世界の歴史は、サタンと彼の仲間たちが、神と神の民と戦い続けていることを示しています。

この短い聖句は、さらに多くのことを伝えています。エバの子孫が「蛇」の頭を砕きます。誰がサタンの頭を砕くか、知っていますか？（現場応答。キリスト教の背景のある生徒は、「イエス様」と正しく答えます）そう、サタンの頭を砕くのはイエス様です。でも、この聖句によれば、蛇はイエス様のかかとを砕く、と書いてあります。かかとを砕かれるのも、とても痛いことですね。サタンは、イエス様のことをとても苦しめましたが、イエス様はついにサタンの頭を砕いたのです。質問です。かかとを砕くのと、頭を砕くのでは、どちらのほうが致命傷になりますか？（現場応答）

サタンは、イエス様が地球にいる間中、ずっと苦しめ続け、ついにはイエス様を十字架で殺してしまいました。でも、イエス様はサタンに致命傷を与えました。それは、結果的にイエス様の十字架の死によって、地球は再びキリストの王国として取り戻されることになったからです。これは、私たちが自己中心的にサタンに従う代わりに、イエス様に従うことを選ぶことができる、ということを意味しています。創世記3章15節の短い言葉の中に、たくさんのことが含まれていますね。では、生徒ワークブックの聖句シート1を見てみましょう。一番初めに、創世記3章15節が載っています。もう一度読んで、あなた自身の言葉で、言い換えてみましょう。

（誰かに創世記3章15節を読んでもらいます。そして、別の生徒に言い換えをしてもらいます。生徒はそれぞれ、聖句シートに言い換えを書きます。ほとんどの生徒〈具体的思考者（ステージ3）〉は、聖句を正しく読むことができれば、すべきことを理解することができるはずです。（具体的思考者に聖書の言い換えを教えることは難しいかもしれませんが、とてもやりがいのあることです。このことは彼らが、聖書と個人的にふれあう経験をするのを助けます。この習慣を十の課を通して、練習させ続けましょう。）

挑戦的なことかもしれませんが、私たちは、聖句を自分の言葉で言い換えすることに取り組んでいきます。自分の言葉で聖句を言い換えていくのです！ この方法はこれまでの聖書理解を大きく変え、

あなたの神様との関わりかたに影響を及ぼすでしょう。これは、素晴らしいことです！

最初の段階での言い換えについて、積極的に生徒を指導しましょう。生徒たちは、このシリーズによって練習を重ねることになります。初期段階において、聖句や課題の言い換えが、うまくいかなくても気にしないようにしましょう。この大切なスキルは、やがて生徒の世界観と霊性を変える力をもつものです。

私にとっては、最初にサタンに屈服したエバが、サタンに反抗する神様の民の模範として、神様が再びアイデンティティーをお与えになったことが、とても素晴らしく思え、大きな励ましを受けています。さらに、神の御子はエバの家系を通して生まれることを選びになったのです。エバは、失敗者だったのにも関わらずです。神様がこれほどの過ちを犯した人間を赦されるということは、とても驚くべきことです。神様は、私たちには受ける資格のない光栄の場所に、私たちを回復してくださるのです。

しかし、私たちは、サタンとサタンの民に反対するエバに続く者になることを選ぶ前に、自分たちがサタンの側にいたことを認めなければなりません。

Ⅱ．ローマの信徒への手紙3章23節： 私たちは皆、サタンの側にいました。

ローマの信徒への手紙3章23節を見てみましょう。覚えている人もいるでしょう。

(一人の生徒に声を出して読ませます)

何人の人が罪を犯しましたか？

(ワークシート1の質問2に正しく答えさせましょう。)

これは、かなり深刻です！ 私たちは皆、サタンの側にいたのです。私たちは、神様に敵対していたのです。このことは、私たちすべては敗北者だという意味です。なぜならヨハネの黙示録によれば、すべてが終わるときに、イエス様と彼に従う者たちは勝利者となり、サタンとサタンの民は敗北者なのですから。たとえそのようには見えなかったとしても、聖書は最後にはどうなるのかを正確に示しています。

この聖句は、とても重要なことを告げていますが、前回の聖句ほど複雑ではありません。聖句シート1を開いて、ローマの信徒への手紙3章23節を言い換えてみましょう。この聖句が言っていることを、あなた自身の言葉で言い換えてみましょう。

(聖句シート1に言い換えた言葉を書かせ、何人かに発表してもらいます。この聖句は、前回のものより簡単です。言い換えをする上で、生徒に励ましと助けを与えましょう。)

裁きのために神の前に立つとき、彼らの前に、「よい行いのリスト」と、「悪い行ないのリスト」が映し出され、それを比較されると考えている人がいます。「よい行いのリスト」の方が長い人は天国へ行ける、というのです。あなたは、「私は、そんなに悪いはずがない」あるいは、「悪いことよりよいことを多くしている」あるいは、「私は、あの人ほど、悪くない」などと言う言葉を聞くかもしれません。しかし、この聖句によれば、よいことと悪いことの対比の問題ではなく、誰かと比べてあなたのほうが良い、ということでもないのです。罪の報酬は、死ぬ運命です。もしあなたが、自分には

罪がないと思っているなら、あなたの目は不自由だということになります。それは次の聖句にある通りです。この聖句もローマの信徒への手紙にあるみ言葉です。

Ⅲ. ローマの信徒への手紙 6 章 23 節： 私たちは死ぬ運命にあり、神様は命を与えることができます。

ローマの信徒への手紙 6 章 23 節を読んでみましょう。前半と後半を比べてみます。まず、前半から行きましょう。

(聖句の前半を、一人の生徒に読ませます。)

報酬とは、あなたが行ったことに対して支払われるものです。それはあなたが獲得したもので、あなたにはそれを受けるに値します。この報酬は正当なものです。

それでは質問です。罪を犯し続けたことに対する報酬とは何ですか？

(生徒に答えさせます。)

この答えは、正当に受けるべきものですが、決してよいニュースではありません。私は、ここで聖句が終わりではないことに感謝します。後半を読んでみましょう。

(一人の生徒にローマの信徒への手紙 6 章 23 節を声に出して読ませます)

賜物とは、誰かがあなたに与えようと選択したものです。それは、あなたやあなたの行ったことには関係ありません。そうではなく、賜物はそれを与える人の考えによるのです。もしあなたにそれを受ける価値があったなら、それは賜物ではありません。それは報酬です。神様は、私たちのために賜物を与えてくださる、のだ、と今の聖句で読みました。では、神様の賜物とは何でしょうか？

(生徒たちに答えさせます)

素晴らしいと思いませんか！ 神様はイエス様を通して、私たちに永遠の命という賜物をくださいます。私は、自分が当然受けるべき報酬より、神様が与えてくださる賜物の方を選びます。あなたはどうか？

(声を出して、生徒に答えさせます。そして、罪の報酬より永遠の命のほうがよい理由についても答えさせます。その後で、聖句シートに言い換えた言葉を書かせます。それから、何人かの生徒に発表してもらいましょう)

ワークシート 1 を見てください。質問 3 「どうすれば、永遠の命を得ることができますか？」についての答えを書きましょう。

(生徒に、答えを書く時間を与えます)

遊び：綱引き

では、2つのグループの戦いをみんなに経験してもらいたいと思います。

(時間が十分あれば、いくつかの組み合わせで綱引きをすることができます。はじめは 1 対 1 で、次にグループ同士同じ人数で、次にグループ同士違う人数で)

覚えていてほしいのは、この「敵意」という戦争は、人間同士の戦いよりもはるかに大きいということです。超自然的な力も含まれているからです。

私たちは、イエス様の代わりに立っている1本の木を使います。私たちはみな、罪人として生まれてきたので、知らないうちにサタンの自己中心の側にいました。ですから、この木（イエス様）を相手に綱引きをしてみましょう。

（太い木の幹にロープをつなぎ、すべての生徒に一人ずつ木と綱引きをさせます。木を動かすことができなかったあとで、彼らに、イエス様はただ強く安定しているだけではなく、積極的に働かれ、動かれるお方である、ということを伝えます）

途中説明：綱引きゲームは、イエス様とサタンの間の現実の戦争によく似ています。イエス様は、私たちがイエス様の側に来て良いという賜物をくださったので、サタンの側にいたために当然受けなければならない「死」の代わりに、「永遠の命」を受け取ることができるようにしてくださいました。

IV. ヨシュア記 24 章 15 節： 私たちは、どちらの側にいるかを選びます。

イエス様は賜物を与えてくださいました。私たちにできるたった一つのことは、サタンの側を離れて、イエス様の側にいることを選ぶことです。神様は、歴史を通じて繰り返し人間にこの選択を提供されました。今、あなたにも提供されています。

遊び：どちらがいい？ ゲーム

私たちは、毎日選択をしていますね。では今から、できるだけすばやく選択してみましょう。みんなで部屋の真ん中に集まります。先生が二つの文章を読みますので、自分の選んだ方にすばやく移動してください。教師は、4-5の「どちらがいい？」の文章をあらかじめ用意しておいてください。以下に、10の質問の例を掲載します。

- ・アイスクリームのチョコレート？ それとも、ヴァニラ？

（チョコレートを選んだ人は左側、ヴァニラを選んだ人は右側にすばやく移動します。次の質問の前に、もう一度部屋の真ん中に戻ります）

- ・遊びたいのは サッカー？ それとも、バスケットボール？
- ・得意なのは 算数？ それとも、科学？
- ・日曜日は 映画を見る？ それとも、ゲームをする？
- ・ノアの箱舟に乗りたい？ それとも、紅海（海）を歩いて渡りたい？

- ・ダビデの話を聞きたい？ それとも、ダニエルの話を聞きたい？
- ・ヨセフになりたい？ それとも、ヨナになりたい？
- ・ハンバーガーにはさむのは、ケチャップ？ それとも マヨネーズ？
- ・夏がいい？ それとも 冬がいい？
- ・ペトロになりたい？ それとも、パウロになりたい？
- ・イエス様の時代に生きていたかった？ それとも 今の時代のほうがいい？

途中説明： みんなでたくさんの選択をしました。このようにみなさんは、毎日選択をしています。でも幾つかの選択は、とても大きく、とても重要なのです。今から、これまでで一番大きな選択についてお話します。これは、みなさんが毎日するべき選択です。

ヨシュア記 24 章 15 節を読んでみましょう。(列王記上 18 章 21、39 節、またはエフェソの信徒への手紙 6 章 10 ～ 12 節を読んでもいいです) この選択が、過去にどのように表されたのかを見てみましょう。

(一人の生徒に声に出して、読んでもらいます。)

選択をするのはあなたです。

神様に従う人々は、自分自身でそれを選ぶのです。あなたには生まれつき、選択する力が与えられていました。でも、赤ちゃんのときには、両親を選ぶことはできませんでした。育つ家も、着るものも選べませんでした。しかし、今は違います。あなたは、より多くの選択を自分自身ですることができます。今までは、他の人が、神様を信じるように選んでくれたかもしれませんが、あなたは今、十分に成長し、自分で選択することができるのです。あなたは、どちらの側を選びますか？ 生まれたままの自己中心なサタンの側ですか？ それとも、永遠の命を与えられるイエス様の側ですか？ 中間は選ぶことができません。どちら側に立つかを決めるのは、あなた自身です。

(聖句シートに、言い換えた言葉を書かせて、何人かの生徒に発表してもらいましょう)

V. ヨハネの手紙 1・5 章 11 ～ 13 節： あなたの永遠の命について、確信を持つことができます。

2 つの戦い中でイエス様の側にいることを選ぶとき、あなたは、永遠の命についての確信を持つことができますか？ あなたが、イエス様の側を選ぼうとするときにもまだ不安に思うことがあることでしょう。そんなときに開く聖句は、ヨハネの手紙 1・5 章 11 ～ 13 節です。

(一人の生徒に、11 節と 12 節を声に出して読んでもらいます)

これは、簡単な算数の問題です。もしあなたが「イエス様(御子)」を持っているなら、あなたは「命」を持っています。

(ホワイトボードに 「あなた + イエス様 = 永遠の命」 と書きます)

もし「イエス様（御子）」を持っていないければ、あなたに「命」はありません。

（ホワイトボードに「あなた－イエス様＝命がない」と書きます）

もし、自分が永遠の命を持っているのか、わからなくなったときには次のように祈ってください。「イエス様、私の内にあなたが欲しいです」こう祈ったなら、あなたは御子を持っています。つまりあなたは、「永遠の命」を持っているのです。

クラスのはじめに、あなたにプレゼントを持っています、と言いましたね。今、さしあげます。

（それぞれの生徒に、あなたの「賜物」をプレゼントしてください。[ギフトカード（図書券など）、すてきな付箋やノート、み言葉しおり] など）

イエス様がくださった十字架の死というあなたへの賜物によって、神様があなたに永遠の命(救い)をくださったように、私はあなたにこれを賜物として与えます。これは、永遠の命ほどではありませんが、価値があるものです。もし、受け取って使うなら、価値があります。

でも、神様がただで与えようとしている賜物を受け取ろうとしない人々がいます。あるいは賜物は受け取ったのに、それを使おうとしない人もいます。神様からの賜物は、話が過ぎ過ぎていて疑わしい、と感じる人もいます。だからヨハネは、13節を書いたのだと思います。

（一人の生徒に13節を声に出して読ませます。）

これは、イエス様を信じている人々のために書かれました。それは彼らが、自分は永遠の命を持っていることを確信することができるためです。

（聖句シート1に言い換えた言葉を書かせます。そして、何人かに発表してもらいます）

結論

あなたに質問します。あなたは、どちらの側に立つことを選びますか？ 中間には立てません。サタンの側に立って、最終的に滅びるか、あるいは、イエス様の側に立って、永遠の命という賜物を受け取るか、2つに1つなのです。ワークシート1の一番下にある質問に答えましょう。

（生徒に、選択する時間を与えます）

戦いは毎日続きます！ 2つのグループの間には「敵意」があります。あなたは、どちらに立つでしょうか？ あなたが正しい選択をすることができるようにお祈りしましょう。（終わりのお祈りをします）



聖句シート 1 :

成功（救い）

次の聖句を読んで、自分の言葉でまとめてみましょう。

1. 創世記 3 章 15 節

2. ローマの信徒への手紙 3 章 23 節

3. ローマの信徒への手紙 6 章 23 節

4. ヨシュア記 24 章 15 節

5. ヨハネの手紙 1 ・ 5 章 11-13 節

ワークシート 1 : 成功（救い）



1. いろんな訳の聖書を読んでみよう。

創世記 3 章 15 節の「敵意」はどんな言葉になっていますか？

敵意（新共同訳、新改訳）

敵を作る（NCV）

恨み（口語訳）

互いに嫌うようにする（NIRV）

敵対する（リビングバイブル）

戦争を宣言する（MSG）

「敵意」にはどんな意味がありますか？ 自分の言葉で書いてみましょう。

2. 何人が罪を犯しましたか？（正しい答えを○で囲みましょう）

- a. 誰も罪を犯していない
- b. すべての人が罪を犯した
- c. 約半分の人が罪を犯した
- d. 私以外、みんなが罪を犯した

3. どのようにして、人間は永遠の命を得ることができますか？

4. あなたは、どちらの側に立ちたいですか？

☐ 神様の側

☐ サタンの側



「家族で話そう」シート1： 成功（救い）

1. 「憎しみ」をどんな場面で見ましたか？

それは聖書が「敵意」と呼んでいる、善と悪、イエス様とサタンの戦いと関係がありますか？

2. あなたはサタンの側に立って、行動してしまったことはありませんか？（自己中心な行動など）

3. 悪いことよりも、良いことをたくさんしていますか？ 教えてください。

4. どのようにしたら、人間は、サタンの側からイエス様の側に変わることができますか？

5. あなたが得た「報酬」にはどんなものがありますか？ あなたが受け取った賜物（たまもの）にはどんなものがありますか？

6. 神様の側に立った後でも、サタンの側にいるかのような行動をとってしまうことがありますか？ 教えてください。

7. あなたはキリストの側にいますか、それともサタンの側にいますか？ どのようにしてそれを知ることができますか？

このテーマについて、他に質問や意見があれば書いてください。
